

# 『京都大学所蔵道教文献善本展示』

2016年11月8日（火）～13日（日）

9：30～17：00

京都大学百周年時計台記念館企画展示室

このたび、京都大学文学研究科において日本道教学会第六十七回大会が開催されるのを記念して、京都大学が所蔵する道教関係の善本を展示します。

道教は、三教（儒教、道教、仏教）の一つとして、中国思想に共通する世界観や人間観に基づきつつ、老荘思想や民間信仰を取り入れて形成された宗教で、中国の伝統文化の中で大きな意味を持つ存在です。また、その信仰は現在も脈々と続いており、現代の中国人の生活にも大きな影響を与えています。さらに、日本のことを考えますと、道教というとすぐに「御中元」の中元はもともと道教の行事のこと、などと言われるようですが、「風水」のような民間への浸透のみならず、古代の段階で既に日本のさまざまな文化の中に道教を淵源とするものが多数あることが知られています。

今回の展示は、その道教のごく一部に関わるものに過ぎませんし、時代としても16世紀以降のもので、いわゆる貴重古典籍の中では比較的新しいものの部類に属します。しかしながら、それゆえに公開される機会が少ない書籍群でもあります。

今回、この展示において、京都大学が誇る典籍コレクションの一端をご覧いただくことにより、典籍についての知見を深めていただくと同時に、道教という、中国文化の基調のひとつに触れていただき、中国文化への興味をさらに広げる機会としていただければ幸いに存じます。

2016年11月8日

京都大学文学研究科中国哲学史研究室

# 展示目録

『修真十書』（正統道藏本・附属図書館蔵）

卷一 卷頭扉絵

卷二 表紙

卷十三 卷末護法神

『太上三十六部尊經』（正統道藏本・附属図書館蔵）

卷三 表紙

卷四 卷頭

卷六 卷末護法神

『無上三天玉堂大法』（正統道藏本・附属図書館蔵）

卷十七表紙

卷二十

卷二十五 卷末護法神

『南華真經』明萬曆吳勉学刊本 （文学研究科蔵）

卷頭

難字音義

『三教源流聖帝佛師搜神大全』明萬曆頃、揚麗泉（四知館）刊本 （文学研究科蔵）

封面

電母神、風伯神、雨師神

『老子集解』薛蕙撰 朝鮮活字本 （文学研究科蔵）

卷頭

『經籙合鈔』抄本 （文学研究科蔵）

『神仙感遇傳』 卷頭

『上清丹天三氣玉皇辰飛綱司命大籙』

（「上清丹天南斗步魂玉女」、「上清丹天南斗履魄玉女」）

内藤湖南『華甲自述』二首（文学研究科蔵）